

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日	2月 ~25日	3月 ~4日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	11	10	5	13	11
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	21	15	16	6	12 (14)	10
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	1	0	0	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	7	3	3	2	3	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4	3	1	3	6
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2	1	3	0 (1)	1
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	7	4
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4	2	3	4	10

- * () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
- * 前回のその他の1件増は、アエロモナスでした。
- * その他の1件は、エルシニアでした。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第9週(2月26日~3月4日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8			1		4	1	2	
三類	0	発生なし	0								
四類	0	発生なし	0								
五類全数	12	アメーバ赤痢	1					1			
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1							
		急性脳炎	1							1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	3			1			2		
		梅毒	3						2		1
		百日咳	3							2	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第9週 2/26~3/4)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

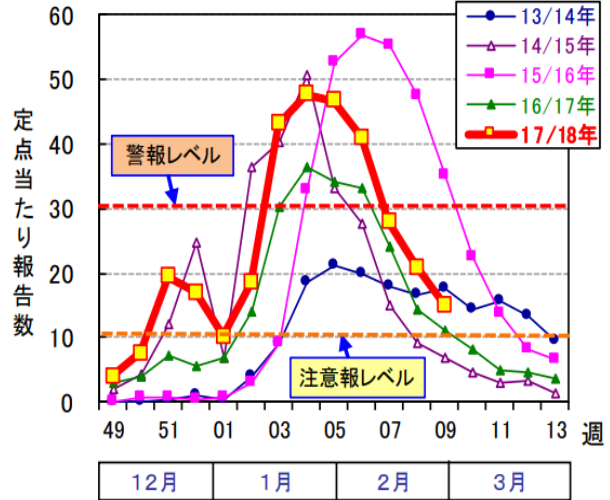
定点当たり15.1人と、依然注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第9週に9件報告されており、学校などの集団生活の場では、引き続き、注意が必要です。健康管理に十分注意し、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策を心がけましょう。

第9週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が47人、B型陽性が96人報告されています。

2. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は19件(昨年同時期の約2.4倍)となりました。感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診し、治療を受けましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	557	15.05	19.59	◇	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.35	◇
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.20	◇	眼科	RSウイルス感染症	12	0.50	0.24	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	3.50	2.37	◇		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	◇
	感染性胃腸炎	253	10.54	9.15	◇		流行性角結膜炎	7	0.88	0.45	◇
	水痘	4	0.17	0.68	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◇
	手足口病	2	0.08	0.23	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	◇
	伝染性紅斑	1	0.04	0.37	◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	◇
	突発性発しん	8	0.33	0.38	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	◇
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	11	1.57	-	◇

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	24	男性(30歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	アメーバ赤痢	1	1	男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	男性(10歳未満)・1人、女性(10歳未満)・1人
5	梅毒	2	19	女性(30歳代)・1人、男性(50歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0)	6	男	2018/01/23	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載